

令和8年 第3回定例会（6月）

一 般 質 問

質問 順位	議席 番号	質 問 者	質問 順位	議席 番号	質 問 者
1	10	田村計久	6	2	飯田正義
2	5	渡辺千恵	7	7	並木利彦
3	9	岸野雅人	8	11	宮田真理子
4	4	南雲あや子	9	3	水谷幸乃
5	6	南雲好幸			

質問事項	質問要旨	答弁 要 求
<p>1. 厳しい財政状況下での今後の町づくりについて</p>	<p>町の財政は厳しく、予算編成では財源不足が続くなど、財政運営の硬直化が懸念される状況にある。さらに、ふるさと納税を前提とした財政運営が続いており、自主財源の安定確保にはなお課題がある。</p> <p>また、現在は宿泊税の導入に向けた検討委員会が進められているが、将来負担への懸念は依然として大きい。</p> <p>こうした中で、今後の町づくりをどのように進めていくのか、以下の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「観光の町・湯沢」の再生と発展 <ul style="list-style-type: none"> →観光依存度が高い本町において、持続可能な観光戦略をどのように描き、地域経済の再生につなげていくのか。 ・若者が生活の場として選ぶ町づくり <ul style="list-style-type: none"> →雇用、住宅、子育て環境など、若者世代が定住を選択できる条件をどのように整備していくのか。 ・都市マスタープランの中長期的な進め方 <ul style="list-style-type: none"> →財政制約の中で、都市計画の優先順位をどのように整理し、実現していくのか。 ・地産地消を軸とした観光と農業の連携 <ul style="list-style-type: none"> →地域農産物を活かした観光振興や、農業との相乗効果をどのように高めていくのか。 	<p>町長</p>
<p>2. 民泊および外国人受け入れに伴う住民不安の解消について</p>	<p>近年、湯沢町では観光需要の高まりに伴い、民泊施設の増加や外国人労働者・長期滞在者の増加が進んでいる。これにより、地域では生活ルールの違いによるトラブルや、住民の不安の声が寄せられるなど、地域コミュニティの在り方が問われる状況が生じている。</p> <p>また、地域からは、日常生活の負担感や将来への不安を訴える声もあり、地域の受け入れ体制やルールづくりの必要性が高まっている。他自治体では、民泊の適正管理や外国人との共生を目的とした条例を制定し、地域の不安解消に取り組む例も見られる。本町においても、住民の安心を確保し、今後増加が見込まれる外国人住民との共生を進める</p>	<p>町長</p>

<p>3. 防犯カメラ設置補助制度の拡大について</p>	<p>ため、条例の制定を含めた対策を検討すべきと考えるが、町の見解を伺う。</p> <p>本町は県内でも犯罪発生率が高く、不審者情報の通報や、近年増加している熊の出没など、住民の安全確保が強く求められている。</p> <p>防犯カメラは、行政の情報収集や犯罪抑止・対応に有効であり、町内各所への設置が必要であるが、現状では十分に進んでいない。そこで、現在の防犯カメラ設置補助制度を見直し、団体や個人など幅広い主体を対象に拡大するとともに、補助額についても再検討し、町全体での設置促進を図るべきではないか。</p>	<p>町 長</p>
------------------------------	--	------------

質問事項	質問要旨	答弁 要求
1. 湯沢の教育について	<p>角谷教育長、この度はご就任おめでとうございます。 地元で生まれ育った方が、湯沢町で久しぶりに教育長に就任されたことに、喜びと大きな期待を抱いております。また、昨年まで湯沢中学校の校長を務められたご経歴から、湯沢学園の現状をはじめ、さまざまな問題や課題を把握されているものと存じます。</p> <p>「まちづくりは人づくりから、人づくりは教育から」という言葉がありますが、私自身もまさにその通りだと考えております。湯沢町の教育長としての今後のご活躍に期待し、以下の点について質問いたします。</p> <p>① 教育長として就任された率直な今のお気持ちと、抱負がありましたらお聞かせください。</p> <p>② 今、最も大切だと考えておられる「子どもの力」とは、どのような力でしょうか。 また、湯沢学園開校から10年が経過し、昨年まで校長として勤務されたご経験を踏まえ、今後変えていきたいこと、力を入れていきたいことがあればお聞かせください。 さらに、保小中一貫教育の成果をどのように感じておられるか、今後の課題とあわせてお聞かせください。</p> <p>③ 教育が育むものは知識だけではなく、「地域を自分事として考える力」ではないでしょうか。 この力を育てるために、今後特に力を入れて取り組むことがあればお聞かせください。 私は、湯沢だからこそできる、この環境だからこそ可能な教育を行うことで、湯沢への愛着が生まれ、子どもたちが将来的に湯沢町とつながり続けるものと考えておりますが、お考えをお聞かせください。</p>	教育長

<p>2. 移住、物件購入に対する行政としての対応について</p>	<p>北海道のニセコや長野の白馬などでは、外国人居住者の増加に伴い建物の購入が進んでいます。</p> <p>インバウンドの増加により経済が活性化する一方で、外国資本による不動産投資が活発化し、急激な地価上昇やマナー問題なども発生しています。湯沢町においても、同様の状況が生じつつあると考えています。</p> <p>冬季にはインバウンド効果により多くの観光客が訪れ、町の経済が潤う反面、生活している町民からは、ゴミや雪に関するトラブルなど不安の声も聞かれます。先日の委員会で報告された「外国人居住者によるトラブル」では、「敷地内に雪が落ちてくるが、相手が外国人で言葉が通じず困っている」といった高齢者からの連絡に対し、行政が対応されたとのことでした。しかし答弁では、基本的には当事者間の問題であるとの答弁がありました。</p> <p>確かに、すべてを行政が対応すべきとは考えていません。しかし、町民が安心して生活できる環境を守るためには、マナーに関するルール整備は民間だけでは難しく、行政が担うべき領域であり、取り組みが必要であると考えます。</p> <p>① 湯沢町に居住する住民(外国人・日本人を問わず)が安心して生活できる環境を維持するためには、生活マナーに関する一定のルールづくりが必要であると考えます。</p> <p>そのための「マナー条例」などの制度化について、町としてどのように考えているのか伺います。</p> <p>② 今後、地価上昇に伴う固定資産税の負担増が生じる可能性があります。また、物件購入後に所有者が不在となり、危険空き家が増加することも想定されます。個人の所有物であり、民間との関係もあるため、行政がすべてを担うことは難しいものの、住民生活と観光が両立できる環境を整えることは必要であると考えますが、町としてどのように取り組むのか伺います。</p>	<p>町 長</p>
-----------------------------------	---	------------

質問事項	質問要旨	答弁 要 求
<p>1. 町民憲章の精神に立ち返り、町をつくろうではないか</p>	<p>美しい自然につつまれた雪のまち湯沢 きよらかな愛情あふれるまち すこやかな活力みなぎるまち さわやかな誰もが訪れたいまち みんなで力をあわせ 豊かで明るく住みよい 文化の香り高い町をつくりましょう</p> <p>昨今、高齢化と少子化、活動人口減少中の外国人の増加、仕事では人手不足・諸物価値高騰と驚くような不動産価格と買収。環境変化として少ない降雪、夏の長期化・灼熱化。</p> <p>憲章最後の「みんなで力をあわせ豊かで明るく住みよい文化の香り高い町をつくりましょう」の観点から、越後湯沢駅周辺道路と駐車場、駅前広場の再整理、外国人(外部日本人含む)の不動産取得と地域住民の暮らしやすさのために、考えるべき行政の課題について一般質問をしてみました。このところの2回では、駅前広場以外建設的で将来に希望が見えるようなお答えはいただけませんでした。産業建設常任委員会の白馬町視察で明らかになったことがあります。</p> <p>様々な迷惑行為への対処として、上位法での規定が曖昧な分野でも「マナー条例」や「多文化共生」の名のもと、可能なところまで踏み込んで、当町で言うところの「豊かで明るく住みよい文化の香り高い町」を目指しての能動的な取組みをされている点です。</p> <p>予定のない「検討」は、何かを目指していないということ。前述に課題として申し上げているのは広い範囲かも知れませんが、現在進行中のもの、またはどの課題にどう取り組もうとする考えはありますか。</p>	<p>町 長</p>

<p>2. 土樽方面へのバス運行、【一原新田—湯沢学園—】間にバス停を</p>	<p>旧「Aコープ」あとは「はりまや」が入り、以前より繁盛されているように見受けられます。結果、お買い物と金融・決済の場としての存在意義が高まっていますが、バス利用の観点からすると、以前の「湯沢中学前」バス停が遠くへ移動してしまっているため「遠くて困る」とお思いの方もおられると考えます。</p> <p>バスの利用者、つまり免許や車を持たない方や高齢で体の何処かが痛い方、それらの方々が買い物袋を持ってより遠距離を歩くのは、さぞや辛いことでしょう。せめて現在工事中の県道にバス停があれば、利用しやすくなると考えますがいかがでしょう。「南越後交通」とは調整に時間がかかるとしても、町運営のマイクロバスなら比較的早く実現可能と思いますが、いかがですか。</p>	<p>町 長</p>
---	--	------------

質問事項	質問要旨	答 弁 要 求
<p>1. 民生委員・児童委員の活動をどう支えていくのか</p>	<p>民生委員・児童委員は、高齢者の見守りや地域福祉を支える重要な存在です。湯沢町の民生委員・児童委員の活動概要にも次のように書かれています。「民生委員・児童委員においては、地域において、住民の側に立ち、その要望を関係機関に伝えるとともに、一人暮らしの高齢者や障がい者の訪問、相談など、住民が安心して暮らせるような支援を行うものとして位置づけられている。」となっています。</p> <p>湯沢町においては、欠員地区がなかなか解消されず、支援が十分行き届いていない状況があるのではないのでしょうか。背景には、活動負担の増加や責任の重さ、人材確保の難しさなど、さまざまな要因があると考えます。</p> <p>民生委員は厚生労働大臣から委嘱される公的な役職であり、地域福祉を支える大切な存在です。委嘱時の対応や日常的な関わりについても、委員の意欲や尊厳に配慮が十分とは言えないとの声を聞いています。</p> <p>民生委員制度を維持し、地域福祉を支えていくためには、行政として委員の活動をどう支え、敬意を持って関わっていくのが重要であると考えます。地域福祉を維持するため、町としての認識と改善策を伺います。</p> <p>① 現在の、民生委員の定数と欠員数はどうなっていますか。欠員が長期化している地区はありますか。町として、原因をどのように分析していますか。</p> <p>② 民生委員は、厚生労働大臣から委嘱される公的役職です。町として、その役割と責任をどのように認識していますか。委嘱時の対応や日常的な関わりについて、委員の意欲向上や敬意の表し方を、どのように考えていますか。委員から処遇や支援体制について、意見聴取を行っていますか。</p>	<p>町 長</p>

<p>2. 町が所有する遊休地の利活用について</p>	<p>町が所有する普通財産のうち、個人・団体・事業所などに貸し付けられ、農地・林地・スキー場用地・事業用土地・薪炭林採取用地等として利活用されている土地と、ノリタ光学跡地などの未利活用地、いわゆる遊休地の双方について、その面積等の実態をお伺いします。</p> <p>また、ノリタ光学跡地および上中子宅造地を除く遊休地について、利活用に向けて町としてどのような取り組みを行っているか併せて伺います。</p>	<p>町 長</p>
-----------------------------	--	------------

質問事項	質問要旨	答弁 要求
<p>1. 公金横領問題と役場の管理体制について</p>	<p>去る3月30日、会計室の係長が長期間にわたり約642万円の公金を横領していたとして懲戒免職処分となり、4月15日には町が刑事告訴を行うという、極めて遺憾な事案が公表された。私は3月議会の一般質問において、本町の規模（人口8千人）における「部長制」の妥当性を問い、糸魚川市のような「課長制への回帰」によるシンプルで責任の所在が明確な組織運営を提案した。今回の不祥事は、まさに私が懸念していた「肥大化した組織による、形式的な管理と責任の分散」が招いた結果ではないか。</p> <p>以上を踏まえ、以下の点について町長の見解を伺う。</p> <p>① 歴史的教訓と「何が正しいか」という政治姿勢について 本町では約40年間に二度の大きな事件があり、その都度、再発防止策が講じられてきたはず。当時の対策内容と、それが今回なぜ機能しなかったのか伺う。また、かつて本町の助役を務められた方が退職時に「誰が正しいかではなく、何が正しいかが重要である」という言葉を残されたと伺っている。町長はこの言葉をご存知と思うが、今回の不祥事を受け、この言葉をどう体現されるのか見解を伺う。</p> <p>② 部長制の機能不全と「責任転嫁」について 4月15日の全員協議会にて、私が「部長制という体制の影響」を問うた際、「体制よりも現金の置き方やチェック体制がなかったことが大きい」と部長答弁があった。これは「体制の影響の可能性」を否定はしていない。 しかし、聞く方に見れば「体制に問題はなく、現場のやり方が悪かっただけ」と責任を回避しているように聞こえるが、町長も同じ認識なのか、町長の見解を伺う。</p> <p>③ 機構改革・体制改革について 3月議会で町長は「今の体制は間違っていないと確信している」と答弁された。しかし、直後の事件発覚について広報ゆぎわのコラムで「不備」を容認している。その「確信」は事実裏切られた形となった。町長、自らが確信してい</p>	<p>町長</p>

<p>2. 夏場観光の推進に向けた「安心・安全な観光環境」の構築について</p>	<p>た体制が公金横領を防げなかったという「現実」を、どう受け止めておられるのか伺う。</p> <p>本町は現在、スキーシーズンのみならず、フジロックフェスティバルを筆頭とした夏場のマウンテンリゾート、通年型観光地としての確立に邁進している。</p> <p>しかし、昨年、温泉街中心部で宿泊客がクマに襲われた事案は、観光地・湯沢にとって極めて深刻な事態である。観光客にとって「いつクマに出会うかわからない」という不安は、どれほど素晴らしい景色や温泉があろうとも、再訪を躊躇させる決定的な要因となる。</p> <p>観光地として「守りの対策」から、ICTを活用した「攻めの安心提供」へと舵を切るべき時である。また、その最前線を担う猟友会の高齢化も看過できない。</p> <p>観光客の命と町のブランドを守るため、具体的かつ大胆な対策について伺う。</p> <p>① ICTを活用した「リアルタイム監視・周知」について 観光客が安心して動けるよう、温泉街や主要登山道にAIカメラを設置し、その情報をリアルタイムで観光客のスマホ等へ多言語配信する仕組みを構築すべきではないか。</p> <p>② 猟友会の高齢化と「担い手育成」について 猟友会の高齢化が進む中、若手が参入しやすいよう、狩猟免許取得や銃所持にかかる費用を「全額公費助成」する制度を創設すべきではないか町長の見解を伺う。</p> <p>③ 観光客への「安心グッズ（クマ鈴・スプレー）」普及支援について 宿泊施設やキャンプ場を拠点に、高性能なクマ鈴や撃退スプレーを町公認で貸し出す、あるいは購入を助成する「手ぶらで安心」制度導入を夏休み前に迅速に実行できないか伺う。</p>	<p>町 長</p>
--	--	------------

<p>3. 教育と町の持続可能性について</p>	<p>湯沢学園開校約10年になります。この間、議会においても懸念される事柄について、様々な一般質問がなされてきました。湯沢中学校校長から引き続き湯沢町教育長になられ、それらの内容を認識されておられると思います。</p> <p>それらを踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらためて湯沢町の教育行政の方向性についての見解は ・教育においてどの様に湯沢町の持続可能性を担保できるのか <p style="text-align: right;">以上二点について伺います。</p>	<p>教育長</p>
--------------------------	--	------------

質問事項	質問要旨	答弁 要 求
<p>1. 新たな自主財源(宿泊税)の導入と「稼ぐ仕組み」の構築について</p> <p>2. 外国人観光客等への「マナー対策」の実効性確保について</p>	<p>国は2026年度予算編成方針において「成長型経済」への転換を打ち出し、観光・DX・地域活性化を戦略分野に位置付けました。長野県白馬村は、令和8年6月施行の宿泊税条例、令和7年12月制定の罰則付き「マナー条例」、総務省「ふるさと住民登録制度」モデル事業への参画など、先駆的施策を矢継ぎ早に展開しております。</p> <p>当町も「観光立町宣言」を掲げ観光産業の総生産は159億円規模に達する屈指の観光地ですが、人口減少・インフラ老朽化・オーバーツーリズムという構造課題は深刻化の一途です。先進地に学び、当町ならではの進化形を描く観点から、本日は3点伺います</p> <p>白馬村は令和8年6月より宿泊税を施行し、平年度で年間約2億円規模の税収を観光地域づくりへ再投資する仕組みを構築いたしました。</p> <p>当町でも宿泊税導入検討委員会が本年4月、5月に2回開催し、議論が本格的に始動しております。</p> <p>そこで町長に伺います。当町における宿泊税導入の基本的な方向性と、その税収を住民・事業者・観光客に可視化し適切に還元するガバナンスのあり方について、町長はどのような構想をお持ちでしょうか。先進地・白馬村の取組も踏まえ、町長の見解を伺います。</p> <p>白馬村は外国人観光客急増に伴う騒音・ごみ等に対応するため、令和7年12月に「マナー条例」を制定し、令和8年7月より5万円以下の罰金を伴う罰則の適用を開始いたします。当町でも各エリアで生活ルールを巡る摩擦が住民から多数寄せられており、現行の努力義務的な対応では限界に来ております。</p> <p>観光客には歓迎を、迷惑行為には毅然たる対応を。そこで伺います。当町においても、白馬村のような罰則規定を含む条例化も視野に、より踏み込んだ対応策を検討する考えはありますか。町長の決意を伺います。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>

<p>3. 「ふるさと住民登録制度」を活用した関係人口の取込みについて</p>	<p>総務省は地方創生2.0の柱として「ふるさと住民登録制度」の創設を進めており、白馬村も同モデル事業の対象自治体として、「白馬ファンコミュニティ（仮称）」の立ち上げ準備や、令和7年11月運用開始の広域連携デジタル地域通貨「アルプスPay」、マイナンバーによる村民認証等を検討中です。</p> <p>当町には二地域居住者・別荘所有者等の潜在的関係人口が多数存在しますが、制度設計は未整備です。そこで伺います。当町独自のふるさと住民登録制度（関係人口エコシステム構築）について、町長の戦略的ビジョンを伺います。</p>	<p>町長</p>
---	--	-----------

質問事項	質問要旨	答弁 要求
<p>1. 財政調整基金について</p>	<p>① 財政調整基金の残高が、12年前の約12億円から令和8年度予算執行後には5億円を下回る見込みとのことですが、町長はこの水準を“危機的”と認識していますか。まず、現状認識を明確にお答えください。</p> <p>② 基金がここまで減少した主な原因は、町税収入の減少、公共施設の維持更新費、事業の継続、物価高、人件費など、どこにあると分析していますか。町長として、最大の要因を具体的に説明してください。 (過去の予算資料でも、固定資産税収入の減少や、道路・橋梁・公共施設の更新費増加を財政上の課題として挙げている。)</p> <p>③ 財政調整基金は本来、収入不足や災害、緊急の財政需要に備えるための基金ですが、5億円未満まで減った場合、災害や除雪費の急増など不測の事態に対応できると考えていますか。必要最低残高の目安を、いくりに設定するのか示してください。 (湯沢町の財政調整基金条例では、財源不足、災害、緊急の大規模事業などの場合に基金を処分できるとされています。)</p> <p>④ 令和9年度以降も基金を取り崩す財政運営を続けるのか、それとも歳出削減・事業見直し・公共施設の統廃合・新たな財源確保などに踏み込むのか、町長の具体的な再建方針をお聞かせください。</p> <p>⑤ 町民サービスを守りながら基金残高を回復させるため、いつまでに、いくらまで財政調整基金を戻す計画なのか。年度ごとの目標額を示した財政健全化計画を町民に公表する考えはありますか。基金が減ったという事実だけでなく、町長がいつ、何をやめ、何を守り、どの財源で立て直すのかを町民に示す段階に来ていると考えます。 町長の明確な方針を伺います。</p>	<p>町長</p>

<p>2. プログラミング教育について</p>	<p>① 湯沢学園で行われているプログラミング教育の目的について</p> <p>湯沢学園では現在、プログラミング教育をどのような目的で実施しているのか伺います。単にパソコンやタブレットを使う授業なのか、それとも文部科学省が示す『プログラミング的思考』を育てる教育として位置付けているのか、町としての認識をお聞かせください。</p> <p>(文部科学省は、小学校プログラミング教育のねらいを、単にコードを書く技能ではなく、「プログラミング的思考」の育成、情報技術の役割への気付き、各教科の学びを確実にすることと説明しています。)</p> <p>② 現在の授業内容が、今求められる教育と一致しているか</p> <p>現在、湯沢学園で行われているプログラミング教育は、社会で求められている情報活用能力、論理的思考力、課題解決力の育成に十分つながっていると考えているのか伺います。授業内容が時代の変化に合っているか、町として検証していますか。</p> <p>(湯沢学園は、保・小・中の12年間を通した一貫教育システムとして整備されており、地域と連携した教育を重視している学校です。だからこそ、ICTやAIを含めた学びを12年間の体系の中でどう位置付けるかが重要)</p> <p>③ AI時代に対応した教育への考え方について</p> <p>生成AIが急速に普及する中で、これからの子どもたちには、AIを使う力だけでなく、AIの答えを疑い、判断し、自分の考えをつくる力が必要だと考えます。湯沢町におけるAI教育をどのように考えているのかお聞きします。</p> <p>(文部科学省は令和6年12月26日に、初等中等教育段階における生成AI利活用ガイドライン Ver. 2.0を公表し、学校現場が生成AIと適切に向き合い、学習指導要領に示す資質・能力の育成に生かすことの重要性を示している。)</p> <p>④ 教員の指導体制と研修について</p> <p>プログラミング教育やAI教育を進めるには、児童生徒の端末整備だけでなく、教員が安心して教えられる研修体制が不可欠です。湯沢学園の教員に対して、プログラミ</p>	<p>教育長</p>
-------------------------	--	------------

ング教育、情報モラル、生成A I 活用に関する研修は十分に行われているのか伺います。あわせて、外部人材や民間企業、大学、地域人材と連携して、専門的な授業支援を行う考えはありますか。

⑤ 湯沢町らしいA I・プログラミング教育の方向性について

湯沢町は観光、雪国の暮らし、自然環境、地域課題など、子どもたちが学びに生かせる素材が多い町です。単なる教材上のプログラミングではなく、除雪、観光、防災、地域交通、環境など、湯沢町の課題解決にI C TやA Iを活用する探究型の教育へ発展させる考えはありますか。合わせて、湯沢学園のプログラミング教育が、単なる端末操作や一時的な体験で終わっていないか。A I時代を生きる子どもたちに必要な判断力、創造力、課題解決力を育てる教育になっているのか、町として検証し、今後の方針を明確に示すべきだと考えます。教育長の見解を伺います。

質問事項	質問要旨	答弁 要求
<p>1. 拉致問題について、湯沢学園ではどのように教育しているかを伺う</p>	<p>拉致被害については、決して風化させてはならない。忘れてはならない問題である。</p> <p>広島教育委員会では、「社会」「道徳」「総合的な学習」で拉致問題を取り上げることができるよう指導案の作成をしている。新潟県ではどうなのか。</p> <p>湯沢学園で、拉致問題について取り上げて学習しているか現状をうかがう。アニメ「めぐみ」や政府から出されている冊子を活用しているか。また、今後の予定はどうか。</p> <p>教育長の拉致問題についてのお考え、お気持ちをお聞かせいただきたい。</p>	<p>教育長</p>

質問事項	質問要旨	答弁 要求
<p>1. 湯沢の未来を創るキャリア教育の継承と「郷土愛」の醸成について</p>	<p>少子化・担い手不足という切実な課題に対し、私たちは子どもたちに何を伝えるべきか。その答えの一つに「郷土愛(シビックプライド)」を育むキャリア教育にあると考えます。町長が施政方針でも示された「自然環境や歴史文化などの特色を生かした教育を推進する」という方針を、ただ知識として学ぶだけでなく、どうすれば「この町のために動きたい」という志にまで高められるのか。</p> <p>これまで、「アントレプレナーシップ教育」の成果として、トウクトウクの実証実験や駅構内のモニュメント装飾など、生徒の提言が実際に町を動かすという素晴らしい事例が生まれました。子どもたちにとって「自分たちの力で地域が変わる」という貴重な成功体験であり「社会の形成者」としての当事者意識を持つ上で、極めて高い教育的効果があったと考えます。</p> <p>この学びの灯を絶やさず、地域の特性を活かした湯沢ならではの教育としてどう深化させていくのか。教育長が描く「次世代育成の具体策」を伺います。</p> <p>① 実証実験等での「町と関わった経験」を単発で終わらせず、湯沢町の教育の標準的なカリキュラムとしてどのように定着させていくか、また実社会と結びついた学びを、広い視野を持ちつつも、「将来は湯沢のために貢献したい」と思える郷土愛をも育むために今後どのようなかたちで展開していくビジョンをお持ちか伺います。</p> <p>② 令和6年の一般質問でリーフレット改訂について伺った所、作成は必須ではないとの答弁がありました。しかし、教育方針が明文化・可視化されていなければ、異動のある教職員間での継続性が保てず、また保護者や地域住民も「湯沢でどのような力が育まれるのか」を具体的に理解することが困難です。</p> <p>リーフレットという形にこだわらずとも、湯沢町が目指すキャリア教育の全体像を、誰にでもわかる形でどのように明示される予定でしょうか。現段階での考えを伺います。</p>	<p>教育長</p>

<p>2. ウェルビーイング指標を「学力向上」と「不登校対策」へ、どう繋げるかについて</p>	<p>本町の児童生徒は、全国学力調査等において「自己肯定感」や「ウェルビーイング」の指標が全国平均を上回る傾向にあると報告されています。前教育長はこれを「本町の教育の強み」として捉えていました。</p> <p>この高いウェルビーイングという数値結果を、具体的な「確かな学力」の定着や、昨今全国的に課題となっている「不登校未然防止」にどう結びつけていくかを伺いたと思います。</p> <p>①「自分には良いところがある」という自信を、学習意欲や自律的な学びにどう結びつけるか。</p> <p>数値の背景にある課題を分析し、日々の指導にどう反映させるか伺いたい。</p> <p>② 幸福度の高さを、不登校未然防止にどう繋げるか。</p> <p>今は不登校の理由が様々で、行きたいけど行けないなど明らかな原因がハッキリしない子供が増えています。</p> <p>学校を「行かなければならない場所」から、自分の存在が認められ、挑戦できる「ウェルビーイングな居場所」にするための教育長のビジョンを伺いたい。</p>	<p>教育長</p>
---	---	------------